

先生各位

## 新規検査項目のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

さて、このたび新たに下記項目の受託を開始することになりましたのでご案内申し上げます。  
今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《受託開始日》 平成 24 年 11 月 12 日(月) 受付分より

《検査要項》

検査項目名称	HIT 抗体 (血小板第 4 因子・ヘパリン複合体抗体)
検査コード	7894
JLAC10	5G530-0000-022-062-01
検体量	血漿 0.5 mL
保存・容器	必凍・C
実施料(判断料)	390 点(免疫)
所要日数	4 ~ 5 日
検査方法	ラテックス凝集法
基準値	1.0 未満 U/mL
備考	採血後、速やかに血漿分離し凍結保存 HIT 抗体 (IgG、IgM、IgA) を測定していますが、グロブリンクラス別の報告ではありません。

保険収載名称：血小板第 4 因子-ヘパリン複合体抗体 (IgG、IgM 及び IgA 抗体)

保険注釈：ア 血小板第 4 因子-ヘパリン複合体抗体 (IgG、IgM 及び IgA 抗体) 又は血小板第 4 因子-ヘパリン複合体抗体 (IgG 抗体) はヘパリン起因性血小板減少症の診断を目的として行った場合に算定する。

イ 血小板第 4 因子-ヘパリン複合体抗体 (IgG、IgM 及び IgA 抗体) 又は血小板第 4 因子-ヘパリン複合体抗体 (IgG 抗体) を行った場合には、区分番号「D006」出血・凝固検査の「20」血小板第 4 因子 (PF4) 及び「D011」免疫血液学的検査の「6」血小板関連 IgG (PA-IgG) の所定点数を併せて算定する。なお、判断料については、免疫血液学的検査に係る判断料のみを算定する。

ウ 一連の検査で、血小板第 4 因子-ヘパリン複合体抗体 (IgG、IgM 及び IgA 抗体) 及び血小板第 4 因子-ヘパリン複合体抗体 (IgG 抗体) を測定した場合は、一方の点数のみを算定する。

《解説》

ヘパリンは汎用されている抗凝固剤ですが、その副作用によって 0.5 ~ 5% の頻度でヘパリン起因性血小板減少症 (Heparin-induced thrombocytopenia : HIT) を引き起こすことがあります。投与されたヘパリンと血小板第 4 因子 (PF4) が血液中で複合体を形成する場合があります。この複合体に対する抗体 (HIT 抗体) が産生されることで血小板減少とともに血栓塞栓症を引き起こします。

HIT の診断は、スコアリングを用いた臨床診断と血小板機能検査等を組み合わせ総合的に評価することが重要ですが、本年 9 月 1 日より保険収載された本項目を併せることにより、より正確に HIT の診断が可能になると期待されています。